

第2回技術委員会(方法書第1回審議)での委員意見と事業者の見解等要旨

No.	区分	委員氏名	発言要旨	事業者の説明、見解等要旨
1	1.6.5 事業計画	片谷	・ごみ収集車のルートは確定しているか。また、収集ルートを通行する歩行者の安全は確保されているか。	【第1回審議での回答】 ・ごみ収集車のルートは、国道及び県道を使うことを基本としております。 【事後回答】 ・また、ルートには歩道が整備されていない場所があるため、収集運搬業者に対する交通安全の徹底を行い、歩行者の安全確保に努めます。
2	1.6.5 事業計画	塩田	・諏訪市、下諏訪町の収集車は生活道路をできる限り通行しないとのことだが、何らかのアクシデント等による通行、もしくは時間帯によっては車が集中し、その時に違うルートを回することも考えられるので、できるだけ地域の方に安心安全を与えられるような形で、あらかじめ考えておいた方がよい。 ・また、構成市町において、ごみ収集車が事故を起こしたり、想定外の走行がなかったか確認したい。	【第1回審議での回答】 ・決められた一定のルートの通行をいかに徹底していくかということが我々の責務ではないかと考えております。 【事後回答】 ・ごみ収集車の集中については、騒音・振動の項目の中で、時間ごとの台数を設定して予測を行います。その結果、特定の時間に車両が集中すれば対策を検討するとともに、施設稼働後においても収集運搬業者に対して走行ルート及び安全運転の徹底を行います。 ・ごみ収集車の事故については、過去5年間において、賠償まで発展した事故はありません。また、想定外の走行の事例については、報告されておりません。
3	2.2.7 環境の保全を目的とした関係法令による指定、規制の状況	大塚	・この地域が塩嶺王城県立公園になっており、範囲がわかるような図面をいただきたい。また、今回の建設地が公園の中なのか外なのかをお話いただきたい。	【第1回審議での回答】 ・方法書のp75に、塩嶺王城県立公園と対象事業実施区域など位置を示しています。対象事業実施区域は、塩嶺王城県立公園の中に位置しております。
4	2.3.4 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	佐藤	・分水嶺に応じて植生がどう違うとか、生物相のデータが少しあった方がよいのではないかと。生態系として特徴づけて調査することが重要と思われる。	【事後回答】 ・分水嶺特有の生態系については予備調査では確認できておりませんが、現地調査を行う中で、ご指摘の点も含めて植物相、動物相を把握します。
5	3.1.1 環境影響評価の項目	佐藤	・対象事業実施区域付近は分水嶺があり、一番海から遠いところにあると考えられる。影響が複雑になる場所であるため、主水脈がどちらに流れるのか調査した方がよいのではないかと。	【事後回答】 ・水質、地形・地質及び生態系の調査結果から、水系に係る要素について特徴を把握します。

No.	区分	委員氏名	発言要旨	事業者の説明、見解等要旨
6	3.2.1 大気質	片谷	<ul style="list-style-type: none"> ・気象観測のエリアの中に自動車排出ガス測定局が1局あり、風向風速計があったと思うが、そのデータが参考になると思うので見ていただきたい。 ・気象観測の選定地点は、妥当だろうと感じている。 	【第1回審議での回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・測定データを参考とします。
7	3.2.1 大気質	片谷	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間値の予測は、プルーム・パフモデルを使うと書かれているが、年間の予測に用いる三次元マスコンモデルの計算を活用できるのではないか。 あえて1時間値の大気予測をプルーム・パフ式を使って別にやることの意味は何か。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・1時間値の予測は、①大気安定度の不安定時、②上層逆転時、③接地逆転層崩壊時及び④ダウンウォッシュ時、を対象として行いますが、上層気象調査で観測された気象条件や煙突排ガスの排出条件を用いて、高い濃度が出現する可能性のある気象条件を設定して予測します。 ・マスコンモデルでは、このような特殊な気象条件の設定に向かないため、従来のプルーム・パフ式をベースとした大気拡散式を用いて予測します。
8	3.2.1 大気質	片谷	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の代表的な風向ということで諏訪地方気象台の気象データを示しているが、樋沢地区は松本盆地側であるので、松本盆地側の気象の方が代表性があると推定されることから、準備書の段階ではそのデータを載せていただきたい。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・アメダス観測地点の松本今井及び松本地域気象観測所のデータによる風配図は別添資料のとおりであり、準備書に諏訪地方気象台データと併せて示します。
9	3.2.1 大気質	花里	<ul style="list-style-type: none"> ・建設地が諏訪湖に近いところにあるが、高低差があり湖畔までは影響がないかもしれないが、大気汚染物質が湖の中に入っていき可能性があるのではないか。その点で例えば、湖心にブイか何かを浮かべて降下物を集めるとか、解体時・稼働時において諏訪湖への負荷を評価できるようなことをする必要があるのでないか。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・一般的に、焼却施設の排ガス中のばいじんは、ろ過式集じん機により粒径が0.05～20μmの粒子が90%～99%除去されると言われております。現在の岡谷市清掃工場についても別添資料のとおり、排ガス中のばいじんの排出量は極めて少なくなっており、新施設においても排出されるばいじんの粒径が小さく、解体時・稼働時ともガス状物質と同様に移流・拡散し、周辺へ降下すると考えられることから、諏訪湖への影響はないと考えております。
10	3.2.1 大気質	鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・冬は結氷しなければ諏訪湖の方が上層の大気より暖かいので、かなり強烈な下降流が起こることが考えられるが、結氷すると逆にものすごい冷却が起こって逆転層が起こることが考えられるので、上層気象の観測は1回だけということだが、結氷するとしないとでは違うので、その点を考慮して観測していただきたい。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・確実に諏訪湖の結氷時に調査を行うのは困難ですが、冬季の上層気象調査は、最も気温が低く、結氷の可能性が高い1月から2月の時期に設定しております。想定している調査期間中に結氷した場合は、結氷時の上昇気象調査を行います。

No.	区分	委員氏名	発言要旨	事業者の説明、見解等要旨
11	3.2.1 大気質	鈴木	<p>・この気象の観測地点ではごみ処理施設周辺の上空のみの測定であり、ごみ処理施設は湖岸より200mほど高いので、逆転層の状況は捉えられないと思う。もう少し低いところで測った方が良いのではないかと。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・上層気象の調査地点は諏訪湖の湖面よりも240m程度高く、これよりも低い標高の気温及び風向風速は測定できません。</p> <p>しかし、煙突からの排ガスの拡散に大きく影響するのは、逆転層が煙突より高い高度に出現し、排ガスの上空への拡散が妨げられる条件下だと考えております。逆転層が煙突より低い高度で発生した場合は、煙突からの排ガスは下層逆転層の上部を移流・拡散し、地上への拡散は抑制されるため、建設地よりも低い地点での上層気象のデータは予測上使用しないことから、設定した調査地点で妥当だと考えております。</p>
12	3.2.1 大気質	佐藤	<p>・大気質の測定場所は、可能ならば隣の市町村への配慮から、塩尻市の勝弦とか、辰野町あたりの測定点もあったほうがよいのではないかと。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・大気質の調査地点は、地形や方位を代表する地点に設定しております。調査結果は予測のためのバックグラウンド濃度の設定に使うものであり、必ずしも多数地点での実施は必要ないと考えます。</p> <p>なお、塩尻市及び辰野町の大気質への影響については、シミュレーションモデルを用いて対象事業実施区域から半径4kmの範囲で予測します。</p>
13	3.2.1 大気質	小澤	<p>・岡谷の市境を超えて塩尻側に高原の別荘地があり、地図上では家並みが結構あるように見えるが、考慮の対象として必要ないところか。また、別荘地の利用状況はどうなっているか。</p>	<p>【第1回審議での回答】</p> <p>・3次元マスコンモデル及び移流パフモデルによって、一体、立体的に予測評価を行います。</p> <p>【事後回答】</p> <p>塩尻市の別荘地も大気質の影響予測の対象範囲に入ります。別荘の利用状況については別添資料のとおりです。</p>
14	3.2.1 大気質	鈴木	<p>・同じ組合で整備するのに、諏訪湖に向かう空気は何の抵抗もないことから諏訪の街に直接的な影響が心配されるが、考えなくてもよいか。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・大気質は、対象事業実施区域から半径4kmの範囲で予測しますが、この範囲を越えて大きな影響があれば、人家の分布等を踏まえて予測します。</p>
15	3.2.2 騒音	野見山	<p>・既に環境基準を6ヶ所中3ヶ所超えていて、今回のルートのところも1ヶ所入っているのではないかと。そのため、稼働時の搬入ルートも決めて、時間帯ごとの交通量の多寡や、少ない時間にごみ収集車を走らせるなど、さらに悪くすることを防ぐようなシミュレーションを検討すべきではないかと。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・騒音の環境基準については、方法書のp131のとおり、3ヶ所(国道20号、岡谷茅野線及び下諏訪辰野線)で超過しています。このうち、国道20号と岡谷茅野線については、諏訪市及び下諏訪町からの搬入ルートになります。</p> <p>道路交通騒音のシミュレーションについては、時間ごと、車種ごとの台数を設定して予測し、特定の時間に影響が予測されれば、対策を検討します。</p>

No.	区分	委員氏名	発言要旨	事業者の説明、見解等要旨
16	3.2.2 騒音 3.2.3 振動	塩田	<ul style="list-style-type: none"> ・今や電気自動車に移りつつある中で、騒音や排気ガスの影響が減らせるが、そういったところは考慮するか。従来のごみ収集車を発注するのか、4年後にそういった自動車ができるのかを含めて調査をすると、予測評価の仕方が変わってくるのでは。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動や大気質への影響が大きい従来型のごみ収集車の使用を仮定し、安全側での予測・評価を行います。なお、稼働後につきましては、総合的な環境の視点で検討します。
17	3.2.2 騒音 3.2.3 振動	梅崎	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却したその後の埋立物の搬出について、どこに持って行くのか。 ・また、埋立物を搬出するトラックの方がごみ収集車より大きいので、トラックの騒音振動についての環境影響評価が大事ではないか。 	【第1回審議での回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・焼却残渣については、諏訪市域内に搬出することまでが決定しており、稼働までに具体的な場所を定めて整備するよう進めているところです。 【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・搬出車両による、騒音・振動等の影響については、他と同様に予測します。
18	3.2.2 騒音 3.2.3 振動	梅崎	<ul style="list-style-type: none"> ・現地は、斜面の坂道に入ったところで路面の状況が少し悪かったような気がする。騒音振動というのは路面の平坦性というのが一番関係すると思うので、特に隣接する公園等への影響について、路面の状況を踏まえて調査をしていただきたい。 	【事後回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通の騒音・振動については方法書のp172のとおり、鳥居平やまびこ公園内に調査地点を設定しており、p174、178で示した手法で予測します。なお、舗装の痛みによる路面状況まで反映することは考えておりません。